

SGS NewsLetter

第4号

発行日 2012年2月吉日

学部長あいさつ 「グローバル人材の育成」



学部長 松林 正一郎

SGS NewsLetter 第4号をお届けします。

グローバル人材の必要性が叫ばれていますが、不足しているようです。SGS（グローバルスタディーズ学部）はグローバル人材を育成するのがMissionでありますので、私なりのグローバル人材の定義と育成のプログラムについてまとめてみたいと思います。

今、世界市場で存在感を失いつつある日本企業は、活路を日本国外に求め、それに必要な企業戦士としてのグローバル人材を求めています。一方、日本の若者が「内向き」であり、学生の海外旅行や海外留学が減少し、企業においては海外で働きたくないという新入社員が増え、一方、日本の大学の国際評価が外国人留学生、外国人教員の比率が低いことをもって問題とされています。

グローバル人材に求められる資質や能力、そのための育成プログラムについては産官学で検討がなされていますが、経済産業省は2010年4月にグローバル人材育成委員会の報告書で「グローバル人材」に共通して求められる能力を次の3つにまとめています。

- ① 通常の社会人基礎力 *
- ② 外国語でのコミュニケーション能力
- ③ 異文化理解・活用力

私も、そのとおりだと思います。又、寺島学長は本年の年頭所感と基本方針において、これらに加え、世界観を深め、世界が直面する課題を構造的に認識し解決する努力を続け、他者の立場で物事を考える力を鍛えることとし、多摩大学の教育の質のたゆまぬ向上を目指すとしております。

SGSは、そのような能力を備えたグローバル人材を育成するための教育プログラムの充実と深化に取り組んでいます。具体的には、語学力を含めたコミュニケーション力を向上させるためのきめ細かい語学教育プログラムの革新、教養や実学の授業に加え、海外留学や留学生との交流、インターンシップ・コミュニティ活動経験などを通して、異なる価値観や異文化を受容し理解し、行動するためのプログラムの整備です。更に、グローバル人材の基本の基本は、他者への思いと役に立ちたいという志、ホスピタリティ・マインドと考えますので、少人数教育やファミリースピリットを大切にしていこうとしています。

さて、SGSが輩出しようとしているグローバル人材の活躍の場はどこでしょうか？現在、グローバル人材の育成は、（1）伝統的な日本人の海外勤務候補者の育成というOutboundの人材育成と、（2）日本への外国人留学生の採用や進出する現地国での採用によるグローバル人材の確保というInboundの二つのタイプで整理されている様です。しかし、私はグローバル人材にはOutboundとInboundに加え、三つ目の人材のタイプが必要と考えています。それは、日本の社会で例えDomesticといわれる会社で仕事をする上でも、地域社会で生活する上でも、グローバル人材の要素と能力を持った人材が必要になるということです。情報通信技術の発展で、情報は時空を超えて瞬時に移動します。又、物の移動（貿易）と人の移動（旅行）は益々拡大していきます。Domesticな会社も社会も、もうあり得ないのです。異なった価値観や文化、言語のお客様にサービスするためにも、外国人の人々と一緒に働く機会においても、グローバル人材に必要な資質と能力が求められます。SGSはOutboundの人材はもちろん、多くのInboundの人材も受け入れ、第三のグローバル人材もしっかり育てていきたいと思っています。

* 社会人基礎力とは若者の育成の手引きとして経済産業省が3つの力で整理したもの。

- 1： 前に踏み出す力（Action） 主体性、粘り強さ
- 2： 考え抜く力（Thinking） 課題発見力、論理的思考力、独創性
- 3： チームで働く力（Teamwork） コミュニケーション力、チームワーク力

企業は最近の学生に主体性、粘り強さ、コミュニケーション力が不足しており、採用選考にあたってこの要素を重視するとしています。

今後のスケジュール

- 3月20日(火・祝) 卒業式
- 4月2日(月)～7日(土) オリエンテーション
- 4月5日(木) 入学式
- 4月9日(月) 春学期 授業開始
- 4月16日(月)～20日(金) 春学期 履修科目登録期間
- 4月27日(金)～5月10日(木) 春学期 履修科目確認期間
- 5月1日(火)・5月2日(水) 特別研修日
- 7月27日(金) 春学期 授業終了
- 7月30日(月)～8月3日(金) 春学期 期末試験期間
- 8月4日(土) 夏季休業期間 開始

発行責任者：
学部長 松林 正一郎

多摩大学
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805
神奈川県藤沢市円行
802番地
Tel:0466-82-4141

国際交流

NANYANG POLITECHNIC(南洋理工学院) BUSINESS MANAGEMENT学部との大学交流協定 -シンガポール調印式-

本学部は従来豪州、ドイツ、アメリカ、カナダの大学との交流協定を結んでいましたが、アジアの重要性を鑑み、アジアの英語圏であるシンガポールの大学との取り組みを積極的に行うことにしました。

2011年11月29日 松林学部長、Kulnazarova教授、宮地事務局長は同校を訪問し、Chan Lee Mun 学長、Chiang Kah Kee 学部長を表敬訪問し、学生交流を第一歩とした大学間交流協定書の調印式を行いました。

同校は7学部、15,000人の学生を擁するシンガポールでも有数の大学です。具体的には2012年春休みに本学から2週間の短期留学生を送り、秋には2週間の短期留学生を受け入れることとし、2013年からは半年から1年の長期留学生を相互に送る予定です。

これを契機として、シンガポールでの学生交流が活発になることを期待しています。



ロイヤルメルボルン工科大学(オーストラリア)からの留学生 受け入れ

1月10日より2週間、提携校であるロイヤルメルボルン工科大学(オーストラリア)から引率の先生と共に、13名の留学生がSGSで日本語や日本文化を学びに来日しました。

今回の試みはSGSにとって初めてのことで、まずはホームステイ先を探すことから始まりました。お蔭様で、藤沢市民の皆様、本学の学生家庭、職員の協力を得て、全員がホームステイを体験することができ、そして体調を崩すことなく、プログラムを修了することができました。

プログラム内容は以下の通りです。

- ・ 16コマの日本語授業
- ・ 日本映画に関する講義や鎌倉七福神めぐり、国会議事堂見学
- ・ 藤沢市民の方のご厚意による餅つき(歓迎会)
- ・ 茶道部の協力のもと、お茶会を経験(全員が着物を着ました)
- ・ 日本語でのプレゼンテーション(最終日に一人5分程度のスピーチをしました)
- ・ 箱根一泊旅行(ほとんどの学生が初めての雪に大興奮、また温泉をととても気に入ったようでした)
- ・ ジブリ美術館、ドラえもんミュージアム、江戸東京博物館、相撲観戦(週末のオプションプログラム。特に相撲観戦は盛り上がりました)

今回の結果を踏まえて、今後も留学生の受け入れを続ける予定です。

ホームステイを希望される方は是非ご協力をお願いします。



本学部からの海外留学

本学部は、創設後5年が経過し、海外留学の興味も徐々に整備されてきました。

右表は2007年からの留学推移です。交換留学提携校も2011年度に1校を加えて8校となりました。

今後はアジア地域での提携校を増やして、アジア・ダイナイズムに対応する所存です。

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	合計(人)
交換留学生	0	0	3	1	7	11
長期一般	0	0	0	1	1	2
短期留学	0	15	33	46	38	132
米国	0	5	10	4	5	24
カナダ	0	2	0	14	4	20
豪州	0	3	4	17	3	27
ニュージーランド	0	0	4	11	11	26
英国	0	0	0	0	3	3
台湾	0	5	7	0	0	12
ベトナム	0	0	0	0	6	6
インド	0	0	8	0	0	8
シンガポール	0	0	0	0	6	6
海外インターンシップ	0	0	11	5	4	20
合計(人)	0	15	47	53	50	165

学園祭「SGS Festa」を開催



11月5日(土)・6日(日)に学園祭「SGS Festa」を開催いたしました。今年は第5回の区切りの年であり、原点に立ち返り、グローバル色の再確認と地域貢献をテーマに、2年生を中心に企画運営を行いました。2日目は悪天候でしたが、多くの方々に来校いただきました。

1年生は、原則全員参加によるAEPのクラス単位での出店を行いました。すぐに完売となるお店もあれば、最後までちょっと残ってしまったお店など様々でしたが、「大学でのイベントは面白い」と、感じて参加できたのではないのでしょうか。各教室の展示では、Study Abroadをはじめ、ボランティアサークルやスポーツ・文化サークルの部屋などが用意され、多少なりともグローバル色を出すことができました。また、後援会の役員の皆様のご協力によるコミュニケーションスペースでは、保護者をはじめ、受験生や近隣の方々と交流の場が持たれ、たいへん賑わいました。次年度もこのコーナーを設置する予定です。保護者の方は、是非ご子弟の情報交換の場として、学園祭に足を運んでいただきたいと思えます。



今年度は、県吹奏楽コンクール中学部門銀賞受賞の六会中学校(SGSから徒歩5分)の吹奏楽部を招待するなど、SGSを拠点とした地域によるイベントを導入、地域貢献の重要性を認識したことは大なる収穫です。反面、ボランティアスタッフの協力者が少ない、タイムスケジュール通りに進まない、広報活動の甘さなど、様々な問題を露呈し、次年度へ向けての課題が多く残りました。12月には、第6回「SGS Festa」に向け始動。学園祭実行委員長には、前年度に続き田川萌絵さん(2年)が就き、1年生の日下部愛美さんと真庭栄治さんが副委員長として活躍します。その他、2年生が多くスタッフとして残ることが決まり、6年目にしようやく3年生が後輩達を引っ張って行ける体制が確立しつつあります。また、多くの新1年生が実行委員会に入会していただき、彼らの新しいアイデアと先輩達の築きあげた伝統と融合した「SGS Festa」となることを期待しています。

次年度の学園祭開催日は、**11月3日(祝)・4日(日)**です。



学生活動 ボランティアサークル

SGSのサークルには、ボランティア団体が多く、また登録者数も多いのが特色の1つです。彼らの活動は藤沢市内でも関心が高く、秋から年末にかけてテレビ・ラジオ出演等取材が相次ぎ、各代表学生がサークルのPRを堂々と行いました。

☆湘南藤沢コンソーシアム

藤沢市と藤沢市に立地する4大学は、それぞれの有る知的・人的資源を活かして地域貢献を前提とした連携、協働を進めることにより、市民力、地域力、行政力と自律した都市力の一層の強化による魅力溢れるまちづくりに資するため、「湘南藤沢コンソーシアム」を設立しました。11月27日(日)には、藤沢市労働会館において、市民を対象に設立記念フォーラムを開催し、多摩大学は、ボランティア活動3団体の紹介を学生によるリレー形式でプレゼンテーションを行いました。

＜参加団体＞

- ・小学校英語ボランティア「Let's speak English」
- ・学生防犯パトロール「たまパト」隊
- ・ECO多摩

－プレゼン・テレビ・ラジオ出演にと大忙し－

☆J：COM湘南 学生防犯パトロール「たまパト」隊

藤沢市広報課、神奈川県警、SGS学生課との共同プロジェクトとして、学生防犯パトロール「たまパト」隊を地元により認知していただくことを趣旨として、J：COM湘南に出演しました。台本のない突撃インタビューによる取材でしたが、隊長の千島成貴さん(3年)が落ち着いて受け答えをしている姿がたいへんたのしく感じました。

12月21日(水)～31日(土)の期間で放映されました。



学生活動 パトロールボランティア“たまパト” 活動報告

学生を主体とした防犯ボランティア団体が結成されたのが、2011年6月10日。地域の防犯ボランティア団体の高齢化が進み、若いパワーを役立ててもらいたいとの働きかけに、SGS生が90名も立ち上がり活動を展開中です。本号では、その後の活動報告をいたします。4月に入学する新入生には、是非魅力を感じていただき、一緒にボランティア活動に参加してもらいたいと思います。

☆ パトロール隊の名称・イメージキャラクター

パトロール隊の名称は、学生に募集をかけ、学生投票により“たまパト”に決定。子どもから年配の方々まで、様々な世代に受け入れられ、地域で徐々に浸透し始めています。

また、イメージキャラクターも募集し、3名の学生が各々素敵なデザインを考案、すべて採用することになりました。今後、ユニフォームや地域配布のチラシ等、様々な場面でキャラクターが登場する予定です。

12月22日(木)には、考案者の3人の学生：古村緑さん(4年)、武藤庸平さん(3年)、今村満理奈さん(1年)が、地域防犯活動に貢献するとして、藤沢北警察署の特別表彰を受けました。50名近くの警察官を前に、池田光夫署長より感謝状が渡されました。警察署内での受賞式では、学生も緊張した面持ちでしたが、たいへん感激していました。



☆ タレント：柳沢慎吾さんとともに防犯活動

10月11日～10日間は、「安全・安心まちづくり旬間」。10月10日(祝)には、出陣式が開催されました。「たまパト」隊からは、隊長の千島成貴さん(3年)と横瀬雄貴さん(1年)が参加。式典では、「たまパト」隊が紹介され、見学していた市民から、いちばん大きな拍手をいただき期待の大きさを改めて感じました。

この日の1日警察署長はタレントの柳沢慎吾さん。学生と一緒にパレードを行いました。

☆ SGS生による1日警察署長

毎年1月10日は、「110番の日」。全国の警察署で様々なイベントが開催される中、藤沢北警察署では、1日警察署長として、鳥越智愛さん(2年)、高野すず子さん(1年)の2名が任命されました。たいへん名誉なことであり、「たまパト」隊の地域貢献が評価されたものと言えます。警察官に就かない限り袖を通すことのない本物の婦人警官の制服をまとい、湘南台駅周辺で市民の方々に防犯を呼びかけました。高野さんは8月に、鳥越さんは12月に、大学生を中心とした神奈川県防犯ボランティア研修会「セーフティかながわユースカレッジ」を受講し、黒岩神奈川県知事名義の修了証書が授与されました。



湘南キャンパスでドラマ撮影

12月17日(土)にフジテレビ系列「金曜プレステージ」で放映予定のドラマ「警察医・秋月桂の検死ファイル」の撮影が、湘南キャンパスで行われました。大学医学部教授の講演会場という設定のもと、主演：秋月桂役の斉藤由貴さんのほか、高岡早紀さん、橋爪淳さんなど、錚錚たる俳優の方々とのシーンを撮りました。当日は藤沢市民のエキストラ約100名も参加、その中でSGS生3名がプロデューサーの目に留まり、役者さんのすぐ脇でエキストラを行いました。参加した学生は、撮影の裏を見ることができ、また出演するなど貴重な体験ができたと感じていました。現在放映日が決定していないため、金曜日の番組欄は要チェック。「SGS NewsLetter」がお手元に届くまでに放映されてしまうのか…微妙です。

湘南キャンパスでのドラマ撮影は今回が早くも4回目となりました。過去には、フジテレビ系列「医龍2」(坂口憲二・大塚寧々)、日本テレビ系列「にいのことを忘れないで(24時間テレビ「愛は地球を救う」で放映)」(錦戸亮)、フジテレビ系列「グッドライフ」(榮倉奈々・伊原剛志)と、高校生はもちろん、保護者様の年齢層にもよく知られている作品の舞台提供を行いました。エキストラもSGS生が優先募集となり、学生にはよい思い出づくりとなっています。これからも新入生・在学生にこのような機会が与えられるとよいと思います。